

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 河川課長 星野 充孝 電話番号 0852-22-5195

事務事業の名称	河川管理事業	
目的	(1) 対象	河川流域住民
	(2) 意図	治水、利水上における河川の適正管理の一環として、河川の適正利用の推進及び愛護意識の向上を図る。
事業概要	河川の適正な管理を実施するために必要な許可工作物・水利権に関する台帳を整備し、河川等愛護活動を活性化するための河川愛護団体に対する支援等を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	河川愛護活動登録団体数	目標値		650.0	660.0	670.0	680.0	団体数
	式・定義	河川愛護活動登録団体数	実績値	638.0	652.0	661.0			
			達成率	-	100.4	100.2	-	-	
2	指標名	河川愛護活動実施延べ人数	目標値		15,500.0	16,000.0	16,500.0	17,000.0	人
	式・定義	河川愛護活動実施延べ人数	実績値	15,132.0	13,676.0	14,735.0			
			達成率	-	88.3	92.1	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	99,109	109,870
うち一般財源 (千円)	43,820	42,715

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

島根県が管理する河川は、601河川の延長2,690.8kmで、そのうち重要水防区域（32河川：延長351km）、危険な箇所（227箇所：182km）については、重点的に河川等巡視点検を実施する必要がある。
また、樋門等の河川管理施設の定期的な点検による適切な維持管理が必要。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・H26年度から、今まで不定期だった樋門等の河川管理施設の点検を毎年実施。
- ・河川の定期的なパトロールを行っている。
- ・H27年度からH29年度までに河川台帳の電子化に向けた整備（データベース化、航空レーザー測量による現況把握）を行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・H27年度からH29年度までに実施した河川台帳の電子化に向けた整備（データベース化、航空レーザー測量による現況把握）により、H30年度から河川管理施設の更新が正確に反映された河川台帳になるよう順次整理していく必要がある。
- ・河川愛護活動登録団体数は増加しているが、構成員の高齢化等により河川愛護活動実施延べ人数は減少傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・これまでは県土整備事務所において紙ベースによる古い台帳しかなく、更新作業が十分になされていなかった。
- ・河川愛護活動実施団体の構成員の高齢化や若者の参加者の不足が考えられる。

③原因を解消するための「課題」

- ・各県土整備事務所担当者に対して実施する研修等により河川台帳の更新対応の強化を図っていく必要がある。
- ・河川愛護活動実施団体の活動人員を維持していくために、新たな参加者を増やしていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・航空レーザー測量を利用した台帳の電子化を進めることにより、河川の適正な維持管理を図っていく。
- ・河川愛護団体に対する支援制度についてホームページやパンフレット等により積極的に周知することによって、新たな参加者を募ることに努める。